

製品安全データシート

作成 2011年3月7日
改訂 2023年8月03日

1. 製品及び会社情報

製品名 フタル酸塩pH標準液. pH4S
会社 富士精密電機株式会社
住所 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-15-14
担当部門 技術部
担当者 村井利広
電話番号 03-3716-3441
FAX番号 03-3716-3820

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性個体：区分外
自然発火性個体：区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分外
急性毒性（経皮）：区分外
皮膚腐食性・刺激性：区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分外
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分外
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分外

環境に対する有害性

水生毒性（急性）：区分外
水生毒性（慢性）：区分外

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：(1)；フタル酸水素カリウム1% (0.04955mol/l) 水溶液
化学特性（示性式）：(1)；C₈H₅KO₄
分子量：(1)；24.22

官報公示整理番号

化審法：(1)；3-1272
安衛法：(1)；3-1342
CAS NUMBER：(1)；877-24-7

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：付着部分、接触部分を水でよく洗い流す。

目に入った場合：数分間多量の水で洗い流す。

飲み込んだ場合：口をすすぐ。異常がある場合は医師に連絡する。

5. 火災時の措置
- 消火剤 : 水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF（水性膜泡消火薬剤）、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する
着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用し、蒸気を吸い込まないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
- 封じ込め及び浄化 : 乾燥砂等の不活性の物質に吸収させ、容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策 : 必要に応じて保護具を使用し、できるだけ皮膚などに付けないようにする。
- 保管
- 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど
8. ばく露防止及び保護措置
- 通気 : 蒸気が発生する場合は、局所排気装置を設置する
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会（2009年度版） : 設定されていない
ACGIH（2009年度版） : 設定されていない
- 呼吸用保護具 : 所排気、呼吸用保護具を使用する。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
- 眼の保護具 : 呼吸用保護具と併用して安全眼鏡又は眼用保護具を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。
9. 物理的及び化学的性質
- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 無臭
- pH : 4.01 (25°C)
- 融点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 引火 : データなし
- 爆発範囲の上限・下限 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 水に対する溶解度 : 混和する

1 0. 安定性及び反応性

反応性：酸化剤と接触すると反応する恐れがある
安定性：常温常圧で安定
避けるべき条件：日光、熱
混触不可物質：強酸化剤
危険な分解生成物：一酸化炭素、二酸化炭素
危険な重合反応：しない

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口（区分外）
急性毒性 経皮（区分外）

1 2. 環境影響情報

生体毒性：データなし
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水に溶かし、pHを中性に調整後下水に流す。又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。
汚染容器：地方自治体の指示に従い廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。
国連番号：非該当
品名：
国連分類：
容器等級：
海洋汚染物質：非該当

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当
毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当

1 6. その他の情報

参考文献：純正化学 フタル酸水素カリウム
化学大辞典 共立出版